

# 九建日報

発行所  
株式会社 九建日報社  
〒812-0018 福岡市博多区住吉5-9-19  
電話 代表092(431)5361番  
FAX 092(431)7613番  
購読料1ヶ月7,020円

北九州支局 TEL.093(921)5011  
長崎支局 TEL.095(827)5595  
熊本支局 TEL.096(273)8708  
大分支局 TEL.097(594)0518  
宮崎支局 TEL.0985(24)6688  
鹿児島支局 TEL.099(259)3426  
http://www.kyuukennippou.co.jp



## ソートン

ソートン 平板  
グリッド天井用ソートン  
ソートン キューブ  
ソートン 不燃軒天  
ソートン ワイド

吉野石膏(株)  
福岡支店  
福岡市博多区博多駅東2-6-1  
☎ 092(451)5315代

## 土木系高校保護者と意見交換

# 就職の目的意識重要

## 若手が魅力、体験講話も

熊 建 協

【熊本】熊本県建設業協会は10日、土木系高校の保護者との意見交換会を初めて開催した。写真。県内建設業の現状や取り組み状況の説明、若手技術者からの体験講話などがあ  
り、保護者からは「建設業界の実情が分かり非常に良かった。今後の進路決定に役立てたい」  
などの感想が聞かれた。



この意見交換は、建設業界にとって重要な課題となつており、建設者の人材確保を図るため、高校卒業後の進路決定や就職先を決める際に大きな影響力を持つ保護者と意見交換し、建設

業への理解を深めてもらい、入職を促そうと企画されたもの。この日は県立熊本工業高校土木科の保護者およそ60人と、同高校出身の若手技術者、同校の教諭、県建設業協会、

測量設計コンサルタンツ協会及び県土木部が参加した。まず最初に県土木部監理課と県建設業協会から、担い手不足が深刻化している建設業の現状が説明され、県内の建設就

業者は55歳以上が39%、29歳以上が9%と高齢化が進行していることや、今年3月の県内高校建設系学科の卒業生578人のうち、県内建設業への就職が97人だったことなどが報告された。またこのような現状に対し、県と建設業協会は連携して高校生向けの現場見学や就職ガイダンス、動画配信などを実施していることや、建設業協会や測量設計コンサルタンツ協会などで構成する県建設業団体連合会が開設している新卒・若年者採用情報HPサイト「くまけんではたらく」を紹介し、建設企業HPとのリンクや、およそ100社の採用予定情報が掲載さ

れていることを保護者に伝えた。建設業協会の豊後謙蔵常務は「人がいる限り無くてはならない産業であり、災害発生時の建設業にしか出来ない活動は県民の安全・安心を支えている」などと建設業をアピールした。その後、i-Icons

structionを用いた昨今の建設現場を紹介したビデオを放映し、女性でも出来る仕事であることを訴えたほか、同高校出身者で光進建設(熊本)入社2年目の嶋田光記氏が仕事内容や入職後の建設現場の雰囲気、やりがいや目標などについて話し「地図に残る仕事が出来、社会的使命感と誇りを感じている。多くの作業員と協力

して工事が完成した時は大きな感動と達成感がある。建設業のやりがいや魅力を多くの人に感じてほしい」などと体験を語った。また同社の井上弘太郎社長は「社会はどのも厳しい。5年、10年経って一人前になる。そこに送り出す親の心構えとそれを受け入れる会社の心構えが大事。将来どうしたいのかを子供としっかり話し合ってから決めてほしい」などと訴えた。

保護者からは離職の要因などが質問され、井上社長は「就職するために建設業を選んだのか、建設業がしたくて就職したのかでは大きな差が出る。建設業に対する意識が大事。我々の仕事には工期がある。それを守るためには残業もあれば、忙しいこともある。仕事は厳しいものだということを今のうちから教えて

ほしい」などとアドバイスし、保護者たちは「一様者には建設業の現状や仕事内容をよく理解することと感想を述べていた。会合終了後、ある保護者が「建設業の現状や仕事内容をよく理解することと感想を述べていた。決意に役立てたい」などと感想を述べていた。